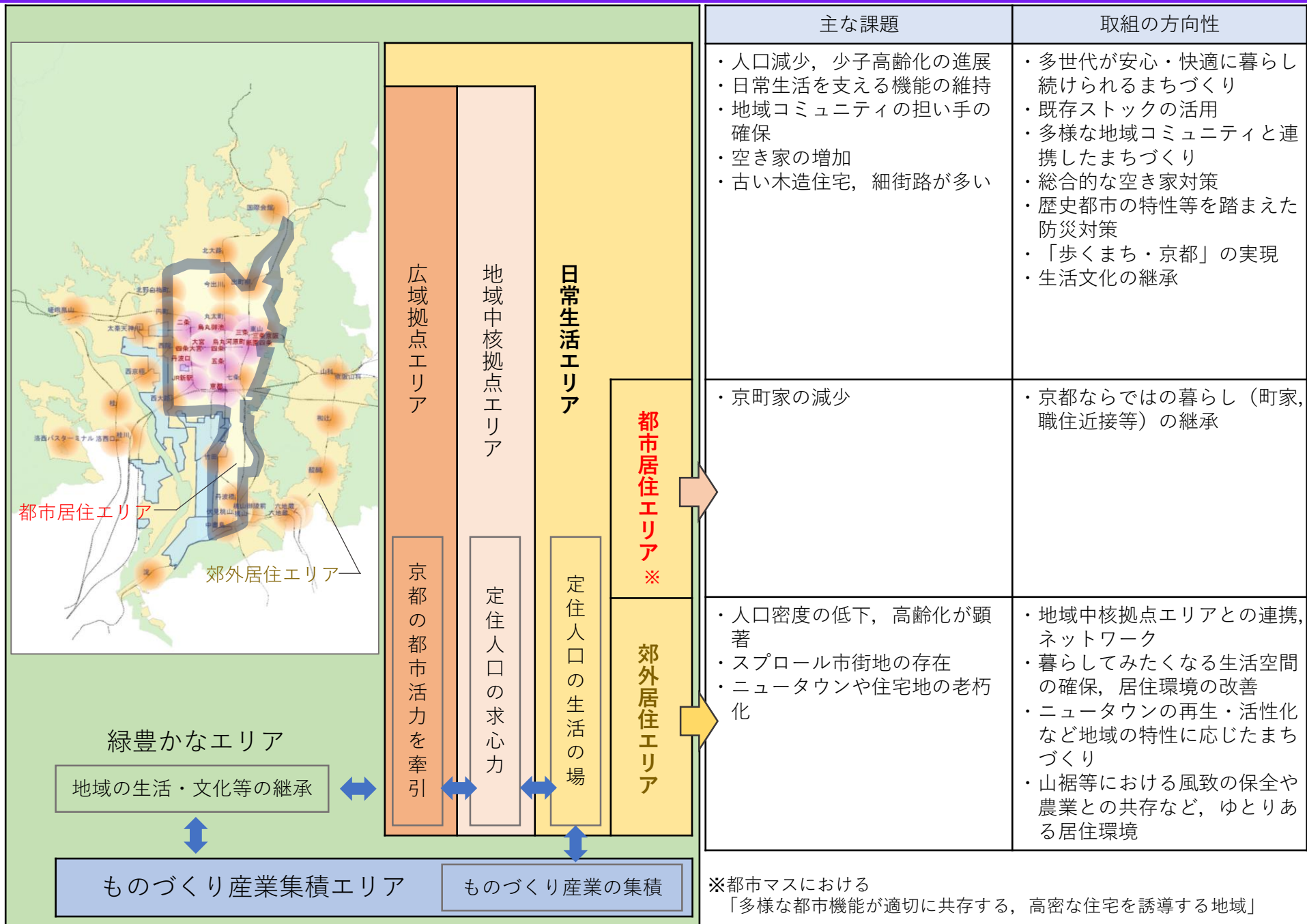


2 各地域の将来像と暮らしのイメージ

地域	地域の将来像と暮らしのイメージ	地域にとって重要な施設の例
広域拠点エリア <ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史的都心エリア ・ 京都駅周辺エリア ・ 二条・丹波口・梅小路周辺エリア 	<ol style="list-style-type: none"> 1 京都を代表する広域的な商業施設や、多くの企業が活動する高機能なオフィスビル、ホールや展示場などのMICE施設といった広域・高次の都市機能が幹線道路沿道を中心に集積し、来訪者をスムーズに受け入れる機能的な都市環境が整備されることにより、国内外から多くの人々が行き交い、働き、交流が行われている。 2 都心居住による地域の文化・コミュニティが維持され、祭事などが活発に行われ、京都の歴史・文化が脈々と受け継がれている。 3 鉄道や道路などの都市基盤の整備の状況に応じて、商業・業務がさらに活況を呈し、五条通沿道などでは先端産業の創出拠点として、研究開発、育成機能を持つゆとりあるオフィス空間が集積し、世界水準の高い技術を有する企業や多様な人材が集うなど、新たな活力や賑わいが生み出されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 百貨店 ・ オフィス ・ MICE施設 等
地域中核拠点エリア <ul style="list-style-type: none"> ・ 都市間交通結節拠点 ・ 文化・交流特色拠点 	<ol style="list-style-type: none"> 1 各地域における主要な公共交通の拠点として、あらゆる目的で出かけてきた多くの住民が行き交い、地域の中心としてのニーズに応えることができる一定規模の商業施設や各種サービス施設、地域の拠点となる病院など多様な都市機能を徒歩圏で利用できることで、広域拠点まで行かなくても、一通りの用件を効率的に済ませることができる。 2 子供から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じて、医療、子育て支援など必要な機能を快適に選択し、地域の暮らしやすさを実感している。 3 ニーズに合わなくなった建物の更新や、改修(リノベーション)、機能更新(コンバージョン)が図られ、時代の変化に応じたまちの魅力・活力が維持・向上している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域ニーズに応える商業施設 ・ 地域の拠点病院 等
日常生活エリア <ul style="list-style-type: none"> ・ 都市居住エリア ・ 郊外居住エリア 	<ol style="list-style-type: none"> 1 日常生活を支える商業施設、病院・診療所、保育所、学校などが身近に存在するとともに、鉄道・バスなどの公共交通でスムーズに移動でき、多世代が安心安全・快適に暮らし、多様な地域コミュニティと連携したまちづくりが進められている。 2 既存ストックの活用が進み、京町家や職・住の共存をはじめとする京都ならではの暮らし・生活文化が継承されるとともに、三山の山裾等では、風致の保全や農業との共生など、豊かな自然環境を活かしたゆとりある居住環境が実現している。 3 地域中核拠点等とのネットワークを活かしながら、ニュータウンの再生・活性化など地域の特性に応じたまちづくりが進められるとともに、地域ぐるみの子育て支援や教育環境の充実、若年・子育て世代のニーズに合った住宅供給など、暮らししてみたい生活空間が確保されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活を支える商業施設 ・ 病院・診療所 ・ 保育所 ・ 高齢者福祉施設 等
ものづくり産業集積エリア <ul style="list-style-type: none"> ・ 西部産業集積エリア ・ 南部産業集積エリア ・ 新産業・研究開発型産業集積エリア 	<ol style="list-style-type: none"> 1 工場とともに住宅や商業施設が多く立地するなど、市街化が進んでいる工業地域では、工場等の操業環境が、居住環境と調和しながら確保され、都市の利便性や京都らしさを十分に活かした多様なものづくり産業が活発に活動している。 2 高速道路や国道へのアクセス性が高く、鉄道駅等への利便性向上、区画整理が進むなど更なる工場の集積が期待できる工業地域では、工場の操業環境と居住環境の調和を図りながら一定まとまった産業用地やゆとりある産業空間が確保され、ものづくり産業の事業拡大や新規立地が進んでいる。 3 新たな京都を発信するものづくり拠点として、まちづくりを進めているらくなん進道などでは、国内外の最先端のものづくり企業の本社オフィスや生産、研究開発、物流施設等が集積し、居住環境との調和が図られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ものづくり関連工場、 ・ 研究所、オフィス ・ 物流施設 等
緑豊かなエリア	<ol style="list-style-type: none"> 1 京都ならではの山紫水明の景観の背景となる三山が保全され、地域の自然や農林業、歴史資源などを活かした文化的・経済的な交流が活発になっている。 2 多様な地域特有の暮らしが継承されるとともに、ゆとりある生活を求める人々の移住・定住が促進されることにより、地域の生活や文化、コミュニティの維持が図られている。 3 農林業や観光等をはじめとする産業の振興、生活に憩いと潤いを与えるスポーツやレクリエーション等の活動拠点の充実等により、働く場が確保されるとともに、都市部などからより多くの人々が訪れ、地域が活性化している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の産業・生活を支える施設 ・ 観光等の交流施設 等
学術文化・交流・創造ゾーン	<ol style="list-style-type: none"> 1 伝統産業や生活文化が受け継がれる地域において、伝統産業と最先端の技術やアートが結びつくなど、暮らしと調和したクリエイティブな活動が行われている。 2 大学の周辺において、学生や研究者などが多く集い、活発な交流が行われ、新たな技術やビジネスなどが生み出されている。 3 観光資源の豊富な地域において、ほんものの歴史や文化、伝統に触れ、京都ファンが増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 京町家を保全したデザイン開発拠点、 ・ 起業を目指す学生や若手研究者が集うオフィス・ラボ ・ 伝統文化を学べるミュージアム 等

日常生活エリアについて



学術文化・交流・創造ゾーンについて

地域分類

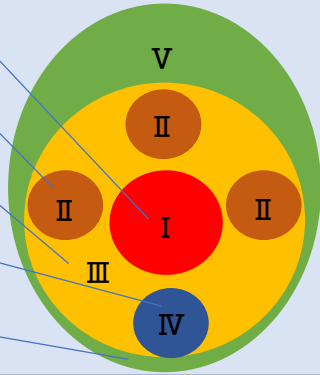
I 広域拠点エリア

II 地域中核拠点エリア

III 日常生活エリア

IV ものづくり
産業集積エリア

V 緑豊かなエリア



京都ならではの資源を活かし新たな魅力や価値を継承・創造



発信

出会う

集う

交流する

歴史
文化

大学

伝統・先端産業

観光

基本的役割

- 1 歴史、文化、大学、観光、伝統産業、最先端のIT産業など、それぞれが磨かれ相互に刺激
- 2 高度な知識や技術、多様な価値観を有する人々が出会い、集い、交流
- 3 クリエイティブなまち・京都ならではの魅力を発信

* 市内に広がる京都ならではの多様な資源のつながりを各エリアの土地利用に重ね合わせて、魅力を創出・発信するゾーン(場所を限定しない。)

地域の将来像と暮らしのイメージ

- 1 伝統産業や生活文化が受け継がれる地域において、伝統産業と最先端の技術やアートが結びつくなど、暮らしと調和したクリエイティブな活動が行われている。
- 2 大学の周辺において、学生や研究者などが多く集い、活発な交流が行われ、新たな技術やビジネスなどが生み出されている。
- 3 観光資源の豊富な地域において、ほんものの歴史や文化、伝統に触れ、京都ファンが増えている。

施設のイメージ

- ・京町家を保全したデザイン開発拠点
- ・起業を目指す学生や若手研究者が集うオフィス・ラボ
- ・伝統文化を学べるミュージアム 等



京都リサーチパーク町家スタジオ

⇒プラン推進のための方策を検討 (①まちづくり条例, ②都市計画手法等, ③関係施策との連携)